

DXとサービスデザイン研修

— お掃除ロボットを走らせるのは、部屋を片付けてから —

ねらい

人間中心サービスを生み出すための仕組みを学ぶ。



講義



個人ワーク



グループワーク



ペアワーク

DXは技術だけの話ではなく、デジタルという「手段」を、どう価値創造に繋げていくかを考えることが重要。

本研修では、価値創造検討の手法である「サービスデザイン」のスキルを、プロセスや事例、ワークも交えながら学ぶ。



講師

一般社団法人コード・フォー・ジャパン
GovTech推進コンサルタント
神奈川県真鶴町CxO補佐官

いしづか さやか
石塚 清香 氏

会場

松江会場 **オンライン受講可** 定員50名

日時 5月27日(水) 9:45~16:15

場所 島根県市町村振興センター

プログラム

午前

- ・ Society5.0に向かう社会
- ・ BPRとサービスデザイン
- ・ サービスデザインのプロセス
— 発見・定義・開発・検証 —

午後

- ・ 島根をより魅力的な場所にするアイデアを考えるワークショップ

※ワークショップは会場のみ実施
※オンライン受講者は午前のみの受講

対象

■全ての所属 ■若手~管理監督者

こんな方におすすめ!

- ◎ デザイン思考がどういうものかわからない
- ◎ 具体的なデザイン思考の活用事例を知りたい
- ◎ ICT「も」活用した課題解決の検討手法を習得したい

受講者の声

*DXだからといって、必ずしもデジタル技術を使う必要はないということが印象に残った。DXとタイトルに付いているが、単に狭義のDXを推進するのではなく、公務員として業務の効率化を進めるための基本的な研修だと思った。今日の内容を今後の業務効率化に活用していきたいと思う。

*DXということでデジタル要素が強いのかと思っていたが、行政サービスや業務の効率化など行政職員の基本を再認識できるものだった。またサービスの考え方の細分化がわかりやすく、DXとまでは行かなくとも業務に活かせる内容だった。

*目的を考えることが大切、サービスデザインの考え方、DXの押さえておくポイントがわかりました。